



福島小学校だより

ふくしま

No. 5

平成26年9月1日



ホームページ <http://www9.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

「駄目なものはダメ」

校長 嶋本 憲司

夏休みが明け、今日から二学期が始まりました。夏休み中は大きな事故の連絡もなく、元気に登校してくれていました。大変うれしく思います。


一学期の終業式では、「アリとキリギリス」の話から、暑いからと言ってキリギリスさんのように怠けるのではなく、アリさんのように自分の目標を立てて早く宿題を終わらせ、楽しい夏休みにしてくださいと話をしました。今年の夏休みは、いかがだったでしょうか。

二学期が始まり、8日(月)からは運動会の練習も始まります。キリギリスのような生活をおくってきた子には、つらい二学期のスタートになるかもしれません。つい、夏休みと同じようにダラダラと過ごしたり怠けてしまったり…。この時期には、学校でも朝からあくびをする子や背筋を伸ばして席に座ってられない子が目立っています。「駄目なものはダメ」。

学校では、二学期のスタートにあたって、そのような子に対して「こんなことをするのは君のためにならない」という愛情を持って、「駄目なものはダメ」と指導していきたいと考えています。ご家庭でも、学校と同じように「駄目なものはダメ」のご指導をお願いしたいと思います。

子どもたちに今必要なのは、きちんと正面から向き合ってくれる大人であり、信念を持って叱ってくれる大人なのではないでしょうか。

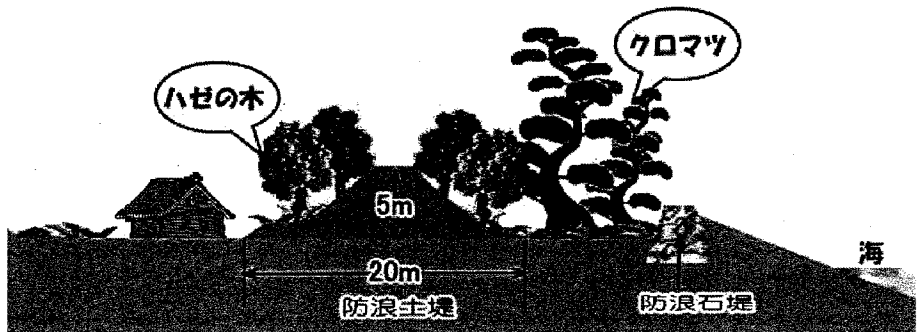
9月の学校行事予定です。

1 (月) 交通・挨拶指導 始業式 教育実習(3年)~26日	4 (木) 身体測定(5・6年) 作品展 9:00~16:00 集金一日目	15 (月) 敬老の日 16 (火) パトリック英語活動 17 (水) 運動会の委員会活動
2 (火) 交通・挨拶指導 二学期給食開始 身体測定(1・2年)	5 (金) 作品展 9:00~12:00 集金二日目 国体ダンスレッスン	23 (火) 秋分の日 24 (水) 運動会の委員会活動 26 (金) 運動会準備
3 (水) 交通・挨拶指導 いじめなくそうデー 身体測定(3・4年) 修学旅行説明会(6年) 作品展 9:00~16:00 委員会活動	6 (土) 育友会 親子清掃 8 (月) 運動会練習開始 生活点検 ~14日 9 (火) ふれあい集会 スクールカウンセラー来校	27 (土) 秋季運動会 29 (月) 振替休業
	10 (水) クラブ活動	

○ 濱口 梧 陵 と 防 災 教 育

5年生の国語の教科書に、『百年後のふるさとを守る』という教材があります。著者は関西大学の河田恵昭教授で、防災が専門の先生です。内容は、江戸時代後期に起こった安政大地震の際に村人を津波から避難させた浜口儀兵衛（浜口梧陵）という人物を取り上げた伝記です。

浜口儀兵衛は、文政3年（1820年）に紀州有田郡広村（今の和歌山県広川町）に生まれました。儀兵衛の偉業は災害に際して村民の迅速な避難に貢献したばかりでなく、被災後も、将来再び同様の災害が起こることを危惧し、私財を投じて約4年の歳月をかけ、1858年に全長600m、高さ5mの広村堤防を築造させました。そのおかげで広川町の中心部では、昭和の東南海地震・南海地震による津波に際して大きな被害を免れました。彼の功績は、現代に通じる津波防災の象徴として広く語り継がれています。浜口儀兵衛の偉業と精神、教訓を学び受け継いでゆくため、広川町には、濱口梧陵記念館と津波防災教育センターから成る「稲むらの火の館」ができています。



広村堤防の断面図

浜口儀兵衛（浜口梧陵）については、4年生の社会科単元「地いきのはってんにつくした人々」でも学習します。

南海トラフ沿いに巨大地震が、今世紀前半にも発生するのではという懸念がされている現在、このような学習を通して、過去の大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を生かしていく必要があります。

本校でも地震・津波が発生した場合の具体的な対応マニュアルを作成し、毎年、避難訓練（校舎最上階への避難）を行っています。

子ども達が災害から自分の身の安全を守り、お互いが協力しながら皆の安全を守り合い、どのような事態が起こっても危険を回避することができる普遍的な災害対応能力を身につけることができるよう努力していきます。